

<平成25年3月期 第1四半期決算参考資料> (連結)

	前第1四半期実績 平成24年3月期 (A)	当第1四半期実績 平成25年3月期 (B)	第2四半期連結 累計期間予想 平成25年3月期 (C)	通期予想 平成25年3月期 (D)	前回(平成24年4月) 通期予想 平成25年3月期 (E)
売上高	4,319 億円	4,193 億円	平成24年4月予想 9,200 9,200 億円	19,800 億円	19,800 億円
営業利益 <利益率>	122 億円 <2.8%>	149 億円 <3.6%>	220 300 億円 <3.3%>	800 億円 <4.0%>	700 億円 <3.5%>
		(増益要因) 台数・車種構成等 19 億円 資材費等コスト低減 48 億円 (減益要因) 為替 ▲ 33 億円 販売費用 ▲ 4 億円 その他 ▲ 3 億円 対前年 変動計 (B-A) 27 億円		(増益要因) 台数・車種構成等 460 億円 資材費等コスト低減 290 億円 (減益要因) 為替 ▲ 190 億円 販売費用 ▲ 150 億円 その他 ▲ 247 億円 対前年 変動計 163 億円	(増益要因) 台数・車種構成等 430 億円 資材費等コスト低減 220 億円 (減益要因) 為替 ▲ 220 億円 販売費用 ▲ 150 億円 その他 ▲ 217 億円 対前年 変動計 63 億円
経常利益 <利益率>	103 億円 <2.4%>	142 億円 <3.4%>	180 260 億円 <2.8%>	620 億円 <3.1%>	520 億円 <2.6%>
四半期(当期) 純利益 <利益率>	43 億円 <1.0%>	200 億円 <4.8%>	90 200 億円 <2.2%>	130 億円 <0.7%>	250 億円 <1.3%>
為替 (売上レート)	82 円/US\$ 118 円/1-0	80 円/US\$ 106 円/1-0	79 円/US\$程度 100 円/1-0程度 (第2四半期: 78円/US\$程度) (第2四半期: 95円/1-0程度)	78 円/US\$程度 97 円/1-0程度 (第2四半期以降: 78円/US\$程度) (第2四半期以降: 95円/1-0程度)	78 円/US\$程度 103 円/1-0程度
設備投資 (計上ベース)	84 億円	121 億円		1,090 億円	1,090 億円
減価償却費	137 億円	122 億円		670 億円	670 億円
研究開発費	133 億円	141 億円		690 億円	690 億円
有利子負債 残高	4,009 億円	3,004 億円			
総資産	12,933 億円	12,320 億円			
売上台数	252 千台	258 千台	552 千台	1,209 千台	1,208 千台
国内	39 千台	40 千台	95 千台	208 千台	203 千台
海外	213 千台	218 千台	457 千台	1,001 千台	1,005 千台
旧カウント 生産台数*	267 250 千台	252 千台			
国内	133 133 千台	124 千台			
海外	134 117 千台	128 千台			
業績評価		減収増益			

*平成25年3月期より新カウントを採用し、新カウントの生産台数には中国での現地ブランド車を除く。

三菱自動車、2012年度第1四半期決算を発表

三菱自動車は本日、2012年度(2013年3月期)第1四半期決算を発表しました。

1. 業績概況

2012年度第1四半期(2012年4月1日～6月30日)の売上高は、為替の円高影響などにより、前年同期比126億円(3%)減の4,193億円となりました。

営業利益は、円高等のマイナス影響はあったものの、台数・車種構成等の好転や、資材費等コスト低減などが寄与し、前年同期比27億円(22%)増の149億円となりました。

経常利益は前年同期比39億円(38%)増の142億円、また当期利益については、投資有価証券の売却益を特別利益として計上したことなどにより、前年同期比157億円(367%)増の200億円となりました。

2. 販売台数

2012年度第1四半期の販売台数は、前年同期比28千台(11%)減の239千台となりました。

日本では、軽自動車にエコカー補助金対象モデルが少なく、これに登録車の主力車種である『コルト』や『アウトランダー』がモデル末期にあることの影響なども加わり、前年同期比4千台(12%)減の30千台となりました。

北米は、米国市場向けモデル『エクリプス』、『エクリプススパイダー』、『エンデバー』の昨年8月の生産終了に伴い、米国におけるこれら車種の販売が減少したことなどから、前年同期比8千台(26%)減の23千台となりました。

欧州は、総需要が減退する西欧地域での販売が前年を大きく下回ったことに加え、総需要が堅調な伸びを示すロシアにおいても主力販売車種の一つである『アウトランダー』がモデル切り替え前で販売が振るわなかったことの影響などから、前年同期比18千台(28%)減の46千台となりました。

アジア及びその他の地域については、北アジアや中東・アフリカ地域の減少はあったものの、3月に『ミラージュ』を発売し販売を大幅に増加させているタイをはじめとしたアセアン地域の好調に支えられ、前年同期比2千台(1%)増の140千台となりました。

3. 2012年度業績見通し

本第1四半期の実績及び直近の市場動向等を踏まえ、2012年度見通しの検討を行った結果、2012年度第2四半期累計期間(2012年4月1日～9月30日)、並びに、2012年度通期(2012年4月1日～2013年3月31日)の販売台数見通し及び業績見通しについて、以下のとおり修正を行うこととしました。

(1) 2012年度第2四半期累計期間

- 販売台数: 504千台(対本年4月26日公表計画値12千台減)
- 売上高: 9,200億円(同±0)
- 営業利益: 300億円(同80億円増)
- 経常利益: 260億円(同80億円増)
- 当期利益: 200億円(同110億円増)

(2) 2012 年度通期

- 販売台数: 1,090 千台(対本年 4 月 26 日公表計画値 2 千台増)
- 売上高: 19,800 億円(同±0)
- 営業利益: 800 億円(同 100 億円増)
- 経常利益: 620 億円(同 100 億円増)
- 当期利益: 130 億円(同 120 億円減)

以上

【お問い合わせ先】

広報部 企業広報担当:地引、村田
企業広報代表 03-6852-4274

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

2012年度 第1四半期業績の概況

MIRAGE



新型グローバルコンパクトカー『ミラージュ』

三菱自動車工業株式会社

2012年7月30日

2012年度第1四半期業績サマリー【前年同期対比】

円高進行・欧州債務危機深刻化など厳しい事業環境ながら増益

(単位：億円、千台)

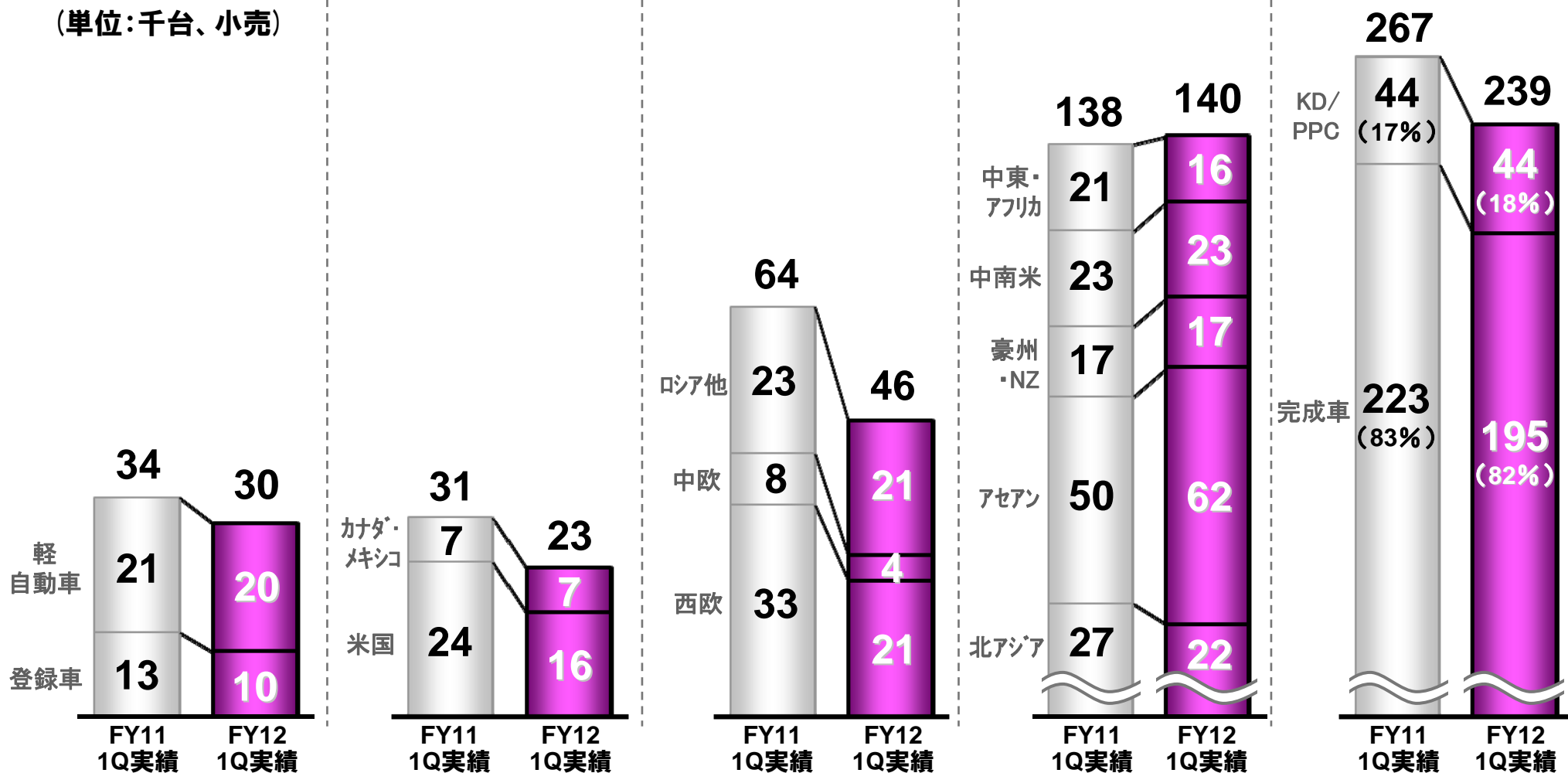
	FY11 1Q 実績①	FY12 1Q 実績②	差 ②－①	【ご参考】 FY12 1H 4/26公表値
売上高	4,319	4,193	- 126	9,200
営業利益	122	149	+27	220
経常利益	103	142	+39	180
当期利益	43	200	+157	90
販売台数(小売)	267	239	- 28	516
販売台数(卸売)	252	258	+6	564
うち OEM台数等	(20)	(22)	(+2)	(47)

※注) 12年度第1四半期販売台数実績は速報値。

地域別販売台数実績【前年同期対比:小売ベース】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
《前年同期対比増減》				
- 4 (-12%)	- 8 (-26%)	- 18 (-28%)	+2 (+1%)	- 28 (-11%)

(単位:千台、小売)



※注) 12年度第1四半期販売台数実績は速報値。

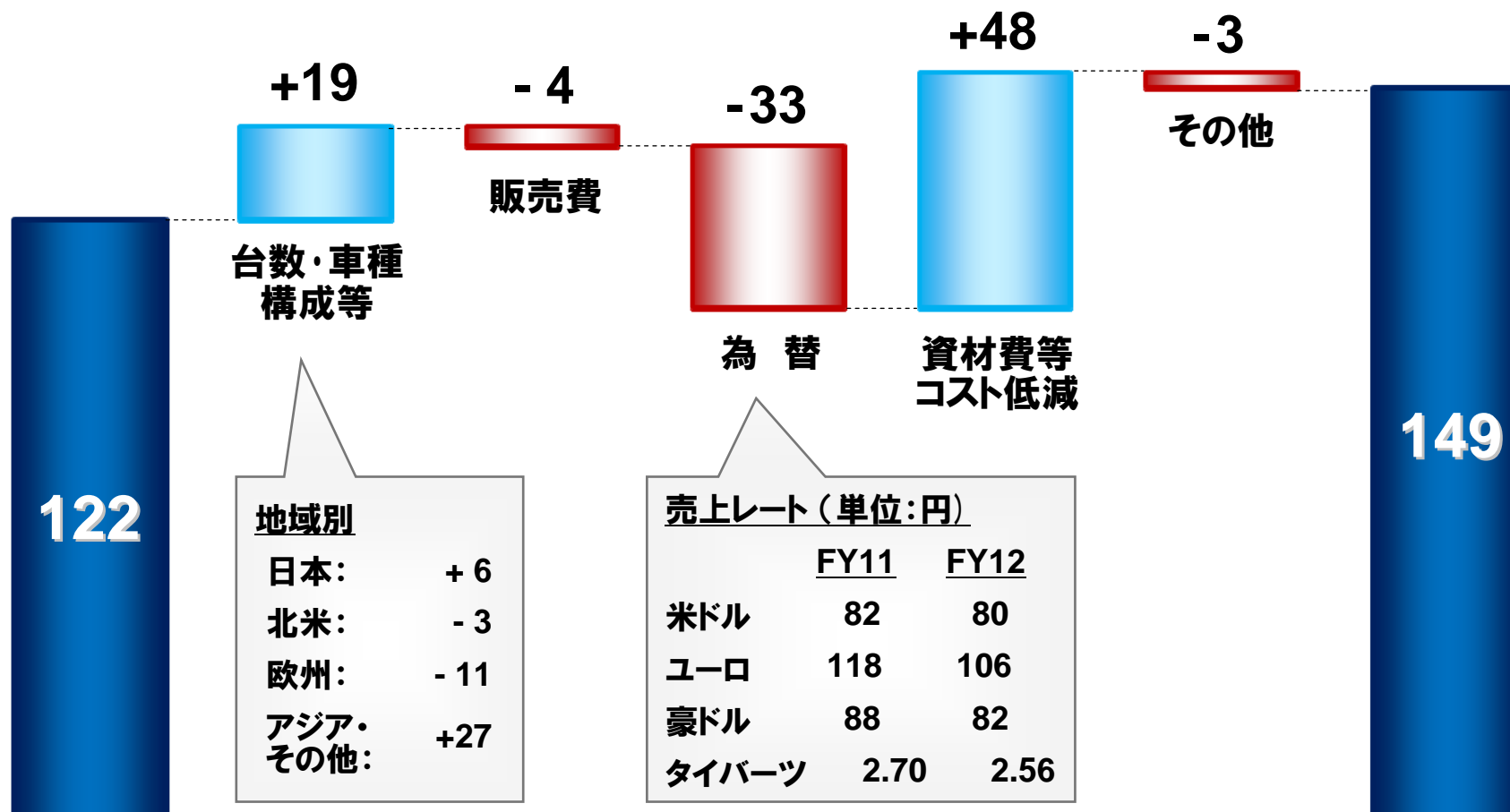
営業利益増減分析【前年同期対比】

(単位: 億円)

FY11 1Q
実績

+27億円

FY12 1Q
実績



經常利益・当期利益【前年同期対比】

(単位：億円)

	FY11 1Q 実績①	FY12 1Q 実績②	差 ②－①
営業利益	122	149	+27
営業外損益	- 19	- 7	+12
經常利益	103	142	+39
特別損益 及び法人税等	- 60	+58	+118
当期利益	43	200	+157

貸借対照表【前年度末対比】

(単位: 億円)

	FY11末 ('12/ 3月末)	FY12 1Q末 ('12/6月末)	増 減
資 産 合 計	13,213	12,320	- 893
うち 現金預金	3,116	3,000	- 116
売上債権	1,462	1,143	- 319
たな卸資産	1,875	1,780	- 95
負 債 合 計	10,557	9,740	- 817
うち 仕入債務	3,174	2,805	- 369
有利子負債	3,481	3,004	- 477
純資産合計	2,656	2,580	- 76

2012年度上期・通期業績見直し修正 【4/26公表値対比】

上期(2Q累計)業績見直し:1Q実績を踏まえ見直し
通期業績見直し:欧州生産子会社の株式譲渡関連損失を織り込み

(単位:億円,千台)

	FY12 上期 4/26公表値①	FY12 上期 7/30公表値②	差 ② - ①	FY12通期 4/26公表値	FY12通期 7/30公表値
売上高	9,200	9,200	±0	19,800	19,800
営業利益	220	300	+80	700	800
経常利益	180	260	+80	520	620
当期利益	90	200	+110	250	130
販売台数(小売)	516	504	-12	1,088	1,090
販売台数(卸売)	564	552	-12	1,208	1,209
うち OEM台数等	(47)	(44)	(- 3)	(104)	(91)
為替レート	計画	計画		計画	計画
米ドル	78	79		78	78
ユーロ	103	100		103	97
豪ドル	82	81		82	80
タイパーツ	2.75	2.56		2.75	2.55

2012年度1Q実績：欧州債務危機深刻化など厳しい事業環境ながら増益

- 販売台数(小売)：前年同期比 11%減少の239千台 アジア他で前年同期を上回るが欧州他が減少
- 販売台数(卸売)：前年同期比 3%増加の258千台 アセアンが牽引しアジア他で前年同期を上回る
- 売上高：前年同期比 3%減収の 4,193億円 為替の円高影響
- 利益：営業利益 149億円、経常利益 142億円、当期利益 200億円
 ※前年同期比でそれぞれ 27億円、39億円、157億円の増益
 円高影響を台数・車種構成等の改善や資材費等コスト低減などで打ち返す

上期(2Q累計)業績見直し：1Q実績を踏まえ見直し 通期業績見直し：欧州生産子会社の株式譲渡関連損失を織り込み

- 第1四半期実績を踏まえ上期業績見直しを見直し
 【7月30日公表値】 小売台数 504千台、卸売台数 552千台、売上高 9,200億円
 営業利益 300億円、経常利益 260億円、当期利益 200億円
 ※ 4月26日公表値からそれぞれ 80億円、80億円、110億円の増額
- 通期業績見直しは欧州生産子会社の株式譲渡関連の特別損失を織り込み見直し
 【7月30日公表値】 小売台数 1,090千台、卸売台数 1,209千台、売上高 19,800億円
 営業利益 800億円、経常利益 620億円、当期利益 130億円
 ※ 4月26日公表値から 営業利益、経常利益はそれぞれ 100億円の増額
 当期利益は 120億円の減額

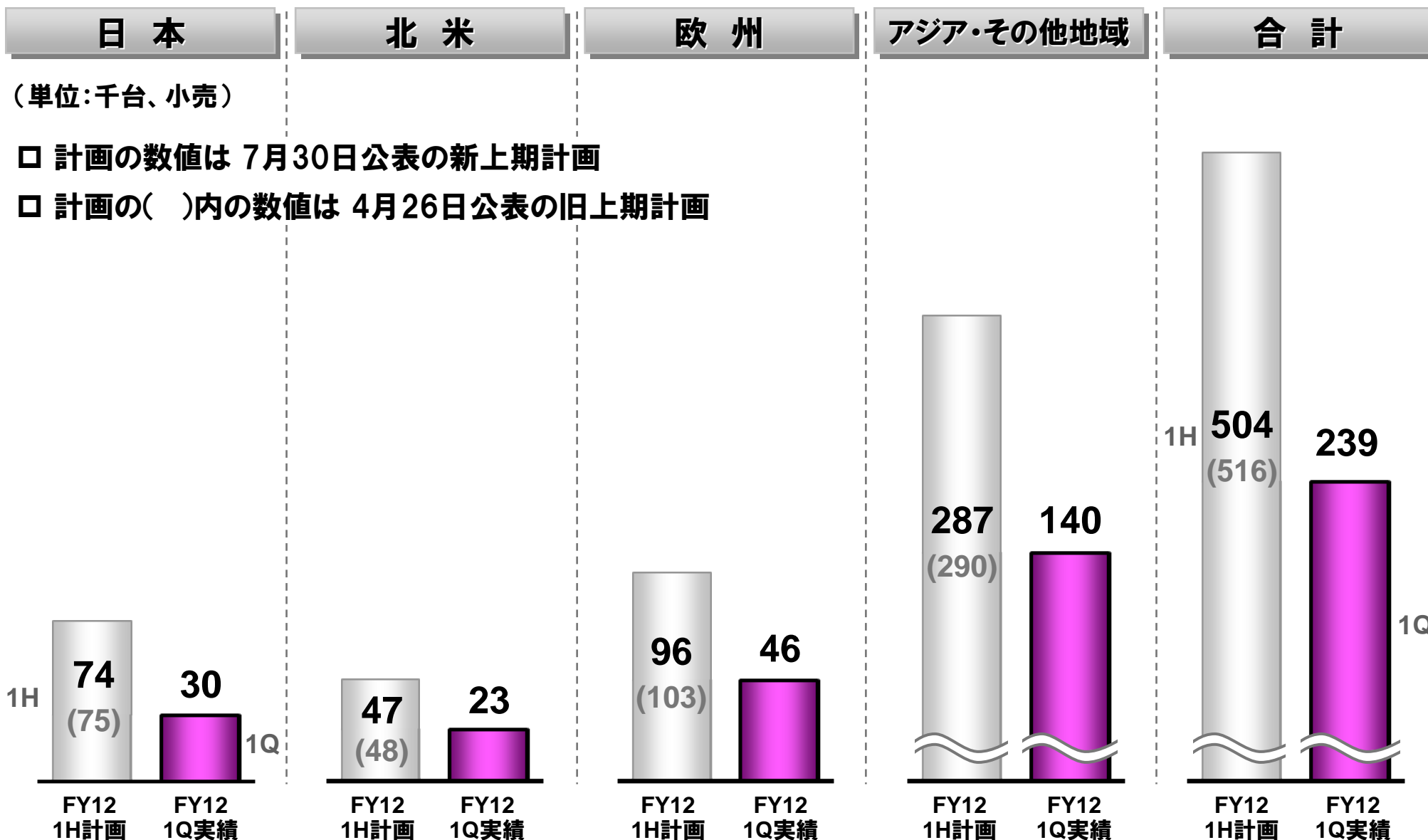
添付資料

MIRAGE



新型グローバルコンパクトカー『ミラージュ』

地域別販売台数【上期計画/1Q実績:小売ベース】



※注) 12年度第1四半期販売台数実績は速報値。

地域別販売台数計画【上期計画4/26公表値対比:小売ベース】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《4/26公表値対比増減》

- 1
(- 1%)

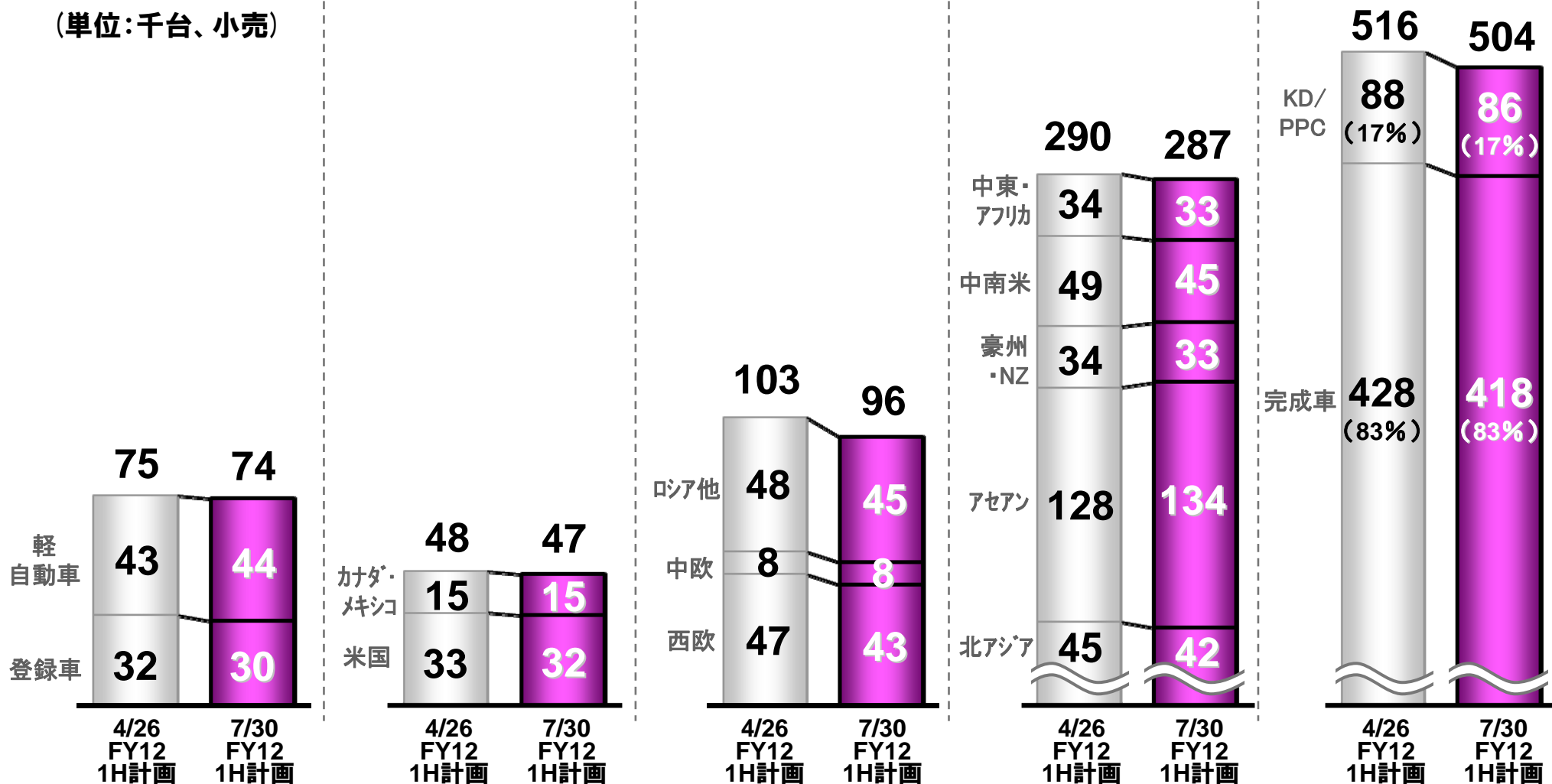
- 1
(- 3%)

- 7
(- 6%)

- 3
(- 1%)

- 12
(- 2%)

(単位:千台、小売)



地域別販売台数計画【通期計画4/26公表値対比:小売ベース】

日本	北米	欧州	アジア・その他地域	合計
----	----	----	-----------	----

《4/26公表値対比増減》

±0
(—)

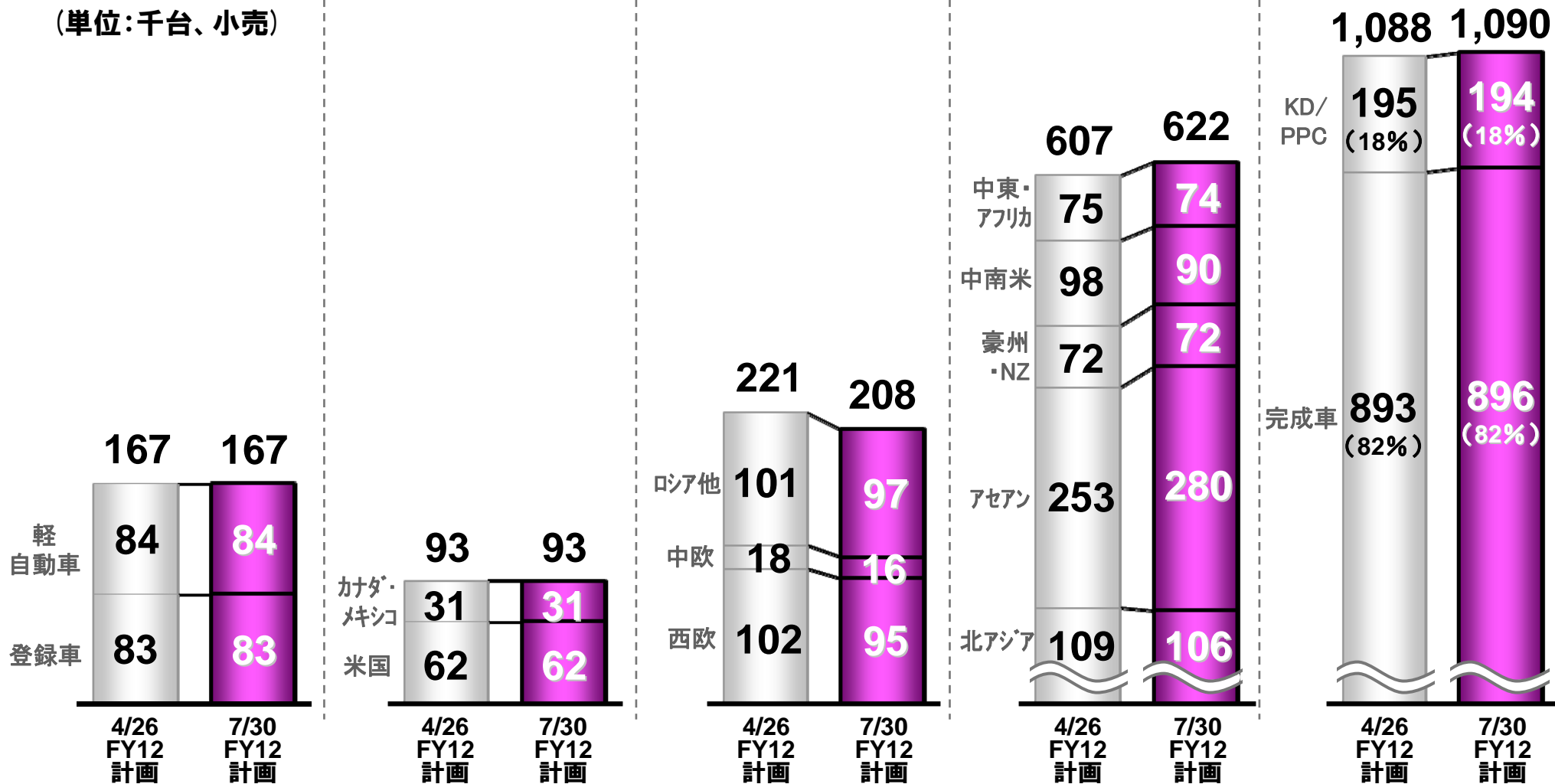
±0
(—)

- 13
(- 6%)

+15
(+3%)

+2
(±0%)

(単位:千台、小売)



地域別業績【仕向地別、1Q前年同期対比、2012年度上期見通し】

(単位：億円)

	FY11 1Q 実績①	FY12 1Q 実績②	増減 ②-①	4/26公表 FY12上期 計画	7/30公表 FY12上期 計画
売上高	4,319	4,193	- 126	9,200	9,200
－日本	761	745	- 16	1,800	1,850
－北米	413	430	+17	800	800
－欧州	1,177	981	- 196	2,200	2,150
－アジア・その他	1,968	2,037	+69	4,400	4,400
営業利益	122	149	+27	220	300
－日本	- 24	- 28	- 4	0	0
－北米	- 69	- 74	- 5	- 170	- 150
－欧州	- 35	- 41	- 6	- 170	- 160
－アジア・その他	250	292	+42	560	610

地域別業績見通し【仕向地別、2012年度通期見通し対比】

(単位：億円)

	4/26公表 FY12 通期 計画①	7/30公表 FY12 通期 計画②	増減 ②-①
売上高	19,800	19,800	±0
－日本	4,000	4,050	+50
－北米	1,700	1,700	±0
－欧州	4,700	4,450	- 250
－アジア・その他	9,400	9,600	+200
営業利益	700	800	+100
－日本	80	70	- 10
－北米	- 280	- 260	+ 20
－欧州	- 270	- 350	- 80
－アジア・その他	1,170	1,340	+170

2012年度業績見通しサマリー 【11年度/12年度、上期/通期別】

(単位: 億円, 千台)

	FY2011		FY2012			
	上期実績	通期実績	4/26公表 上期計画	7/30公表 上期計画	4/26公表 通期計画	7/30公表 通期計画
売上高	9,075	18,073	9,200	9,200	19,800	19,800
営業利益	342	637	220	300	700	800
経常利益	233	609	180	260	520	620
当期利益	106	239	90	200	250	130
販売台数(小売)	519	1,001	516	504	1,088	1,090
販売台数(卸売)	530	1,072	564	552	1,208	1,209
うち OEM台数等	(36)	(87)	(47)	(44)	(104)	(91)

タイでの好調な立ち上がりにつき、日本向け出荷開始

■ 『ミラージュ』のコンセプト

- ・ 「低燃費」「コンパクト」「低価格」の世界戦略車
- ・ 「先進国における環境対応車」及び「新興国におけるエントリーカー」としてグローバルに投入
- ・ 大人5人の居住空間を確保したスモールカー
- ・ 新開発1.0ℓ & 1.2ℓ 3気筒エンジン + 可変バルブタイミング機構 (MIVEC※1) アイドルストップシステム (AS&G※2) 減速エネルギー回生システム 空気の抵抗低減と車体の軽量化

■ 生産工場

- ・ タイ MMTh社 第3工場

■ 販売

- ・ タイで3月から販売開始、3万台を超える受注
- ・ 日本では、8月末に発売予定

※1 MIVEC : Mitsubishi Innovative Valve timing Electronic Control system

※2 AS&G : Auto Stop & Go

※3 1ℓエンジン、AS&G搭載車

燃費27.2km/L(JC08モード)※3



新型『MIRAGE (ミラージュ)』日本仕様車



日本向け『ミラージュ』出荷式

新型『アウトランダー』の投入

■ 新型『アウトランダー』のコンセプト

- ・ クラストップレベルの低燃費、低CO2を実現する優れた環境性能

新開発の可変動弁機構を採用した新型MIVEC※1エンジン

自社開発クリーンディーゼルエンジン

アイドルストップシステム(AS&G※2)

エコ運転支援システム

- ・ 先進安全技術の採用による高い安全性能

追従機能付きクルーズコントロール

車線逸脱警報など

- ・ 上質で使い勝手の良いインテリア

■ 生産工場

- ・ 岡崎工場、ロシアでの現地生産

■ 販売開始

- ・ 今夏よりロシアをはじめ、欧州、日本など世界各市場へ展開

- ・ 2012年度中には当社が独自に新開発しているプラグインハイブリッドシステムを搭載したモデルを追加投入予定



新型『アウトランダー』

※1 MIVEC : Mitsubishi Innovative Valve timing Electronic Control system

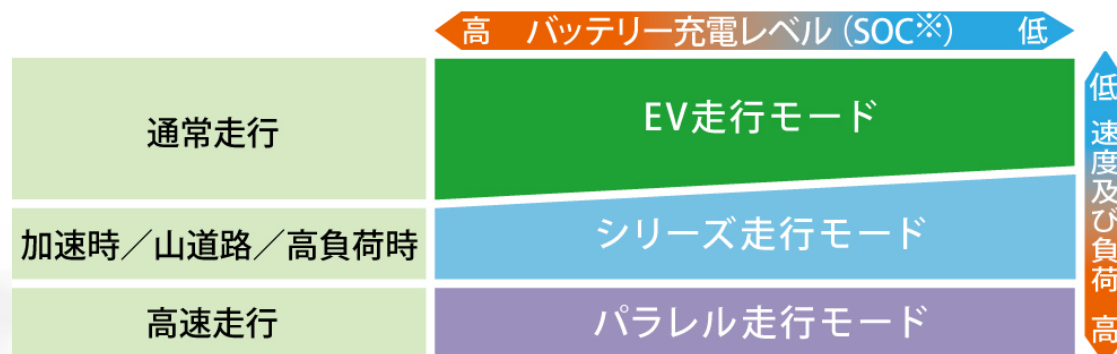
※2 AS&G : Auto Stop & Go

Concept PX-MiEV II



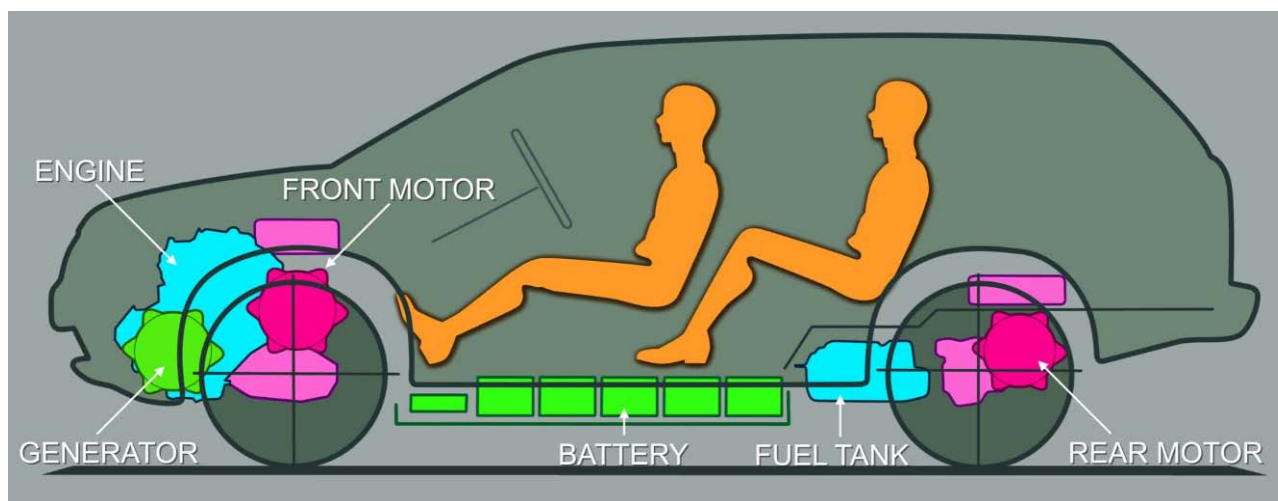
2011年東京モーターショー出品PHEV
『MITSUBISHI Concept PX-MiEV II』

三菱プラグインハイブリッドEVシステム



※State of Charge





- ・目標EV走行距離 : 50km 以上
- ・目標航続可能距離 : 800km 以上
- ・目標複合燃料消費率 : 60km/L 以上



システム構成

- 1.EVコンポーネント
 - ・駆動用バッテリー
 - ・前後のモーター
 - ・前後のインバーター
- 2.エンジン・燃料タンク
- 3.ジェネレーター

電動システム搭載車の展開拡大

	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度
日本	<ul style="list-style-type: none"> ・フリート販売 09年7月～  <p>『i-MiEV』</p> <p>販売実績: 1.4千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・一般販売 10年4月～  <p>『MINICAB-MiEV』</p> <p>販売実績: 2.6千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「M」「G」の2グレード展開 11年7月～ <p>販売実績: 5千台</p>	 <p>『Concept PX-MiEV II』</p> <p>11年12月～ 軽商用電気自動車</p> <p>軽トラックEV 軽トラックEV PHEV</p>
	海外	<ul style="list-style-type: none"> ・右ハンドル車（香港、イギリス他） 09年秋～  <p>欧州向け『i-MiEV』</p> <p>販売実績: 0.2千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・欧州（左ハンドル市場含む）/PSAプジョー・シトロエン社向け 10年10月～ <p>販売実績: 5.6千台</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・北米 11年11月～ <p>販売実績: 11千台</p>

軽商用電気自動車『MINICAB-MiEV』



はたらくクルマも電気自動車へ
ミニキャブ・ミーブは、
電池容量の異なる
2つのタイプをご用意しています。



実質202万円のCD 16.0kWh仕様

- ・一充電走行距離 : 150km (JC08モード)
- ・電池容量 : 16.0kWh
- ・モーター最大出力 : 30kW [41PS]
- ・充電時間 普通充電 : 7時間 (満充電)
急速充電 : 35分 (80%充電)^{※2}
- ・価格 : 2,950,000円^{※3}
補助金^{※1} : 930,000円

実質173万円のCD 10.5kWh仕様

- ・一充電走行距離 : 100km (JC08モード)
- ・電池容量 : 10.5kWh
- ・モーター最大出力 : 30kW [41PS]
- ・充電時間 普通充電 : 4.5時間 (満充電)
急速充電 : 15分 (80%充電)^{※2}
- ・価格 : 2,400,000円^{※3}
補助金^{※1} : 670,000円

本資料に記載されている将来に関する記述を含む歴史的事実以外のすべての記述は、現時点における当社の予測、期待、目標、想定、計画、評価等を基礎として記載されているものです。また、予想数値を算定するために、一定の前提(仮定)を用いています。これらの記述または前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証や将来その通りに実現するという保証はありません。これらの記述または前提(仮定)が、客観的には不正確であったり、将来実現しない原因となるリスク要因や不確定要因のうち、現在想定しうる主要なものとしては、本計画の各種目標・各種施策の実現可能性、金利・為替・原油価格の変動可能性、関係法令・規則の変更可能性、日本国内外の経済・社会情勢の変化可能性等があげられます。

なお、潜在的リスクや不確定要因はこれらに限られるものではありませんので、ご注意ください。また、当社は、将来生じた事象を反映するために、本資料に記載された情報を更新する義務を負っておりません。投資に関する最終的な決定は、投資家の皆様ご自身の責任をもってご判断ください。本資料に記載されている情報に基づき投資された結果、何らかの損害が発生した場合でも、当社は責任を負いかねますので、ご了承ください。

Drive@earth



MITSUBISHI MOTORS